

東京都のサービス提供事業所において 障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む現場のリーダー※の姿 Ver.2

※法制度上の名称は「サービス管理責任者」「児童発達支援管理責任者」という

基本姿勢

真摯に人と向き合うことができる

本人主体 地域生活支援

本人の幸せのため、望む地域で生きていくことをサポートする

権利擁護

内在する能力や可能性を信じ、発揮することを支え、個人として尊重する視点を持つ

組織のリーダー

現場のリーダーとして、支援の向上に向けて、組織として取り組む軸となる

連携

広い見識を持ち、地域のさまざまな人と連絡しながら、地域社会を作る



持つべき力

- ・利用者のことをわがことのようにとらえる共感力
- ・利用者とその家族、職員、関係機関と信頼関係を築く力
- ・実行力
- ・現状や変化をアセスメントする（見立てる）力と、必要な手立てを組み立てる力
- ・個別支援計画を中心に、各職員の役割やチームアプローチを向上する力
- ・様々な環境と地域の力をアレンジして、支援の仕組みを構築する力



共通の知識

- ・東京における障害福祉の歴史と、最新の制度に関する知識
- ・職員を育てるための知識、OJTに関する知識
- ・障害特性の理解 ・権利擁護／虐待防止／意思決定支援の知識
- ・職員をまとめるための知識 ・各種機関の役割に関する知識
- ・制度（会計）に関する知識



領域別の知識 子どもの発達等

更新研修『現場のリーダーとして、地域で生きるを支える』

- ①後進を育成する：自身を振り返り、次のリーダーを育てる
- ②地域課題に取り組む：関係機関との連携を振り返り、地域の事業所として課題に取り組む
- ③他分野を知る：視野を広げ、大きく変化する福祉施策の動向や環境を理解する

実践研修『支援の質を向上できる』

- ①プロセス管理
- ②チームマネジメント
- ③地域や関係機関との連携
- ④リスクマネジメント

指導者養成研修

研修講師を段階的に養成する

基礎研修『利用者の幸せのため心に寄り添う』

- ①なぜ個別支援計画を作るのかを理解し、どうやって作るのかを獲得する
- ②プロセス管理の必要性を理解する
- ③サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の全体像を理解する



専門研修 分野別・事業別研修等